

省エネ計算プログラムの手引き

ガスヒートポンプエアコン

2026年3月

1. 省エネ計算プログラムとは	・・・・・・・・・・ P.3
2. ご利用方法	
2-1.省エネ計算プログラムサイトの立ち上げ	・・・・・・・・・・ P.4
2-2.使用環境の登録	・・・・・・・・・・ P.6
2-3.既存設備の登録	・・・・・・・・・・ P.7
2-4.導入予定設備の登録	・・・・・・・・・・ P.11
2-5.計算結果の確認	・・・・・・・・・・ P.13
3. 計算のうえでのご注意	・・・・・・・・・・ P.14

1.省エネ計算プログラムとは

本ツールは、製品型番や使用環境を入力すると、省エネ設備の導入前後の削減効果を算出できるツールです。省エネルギー化の取り組みにご活用ください。

※補助金の申請を行うものではありません。

省エネ計算プログラムを使用する推奨例

省エネ補助金活用事例集で省エネの具体事例を確認する



省エネ計算プログラムを使用する



省エネ診断で専門家からの具体的なアドバイスも聞いてみる



省エネ補助金を検討してみる

 こんな方におすすめ！

- ✔ オンライン上で簡単に省エネ量を調べたい！
- ✔ 更新予定の設備のコスト削減効果を知りたい！

2.ご利用方法

2-1.省エネ計算プログラムサイトの立ち上げ



- ① 「省エネ計算プログラム」のサイトに遷移したら、「比較を開始する」をクリック。



- ② 「サイトご利用に関して」を確認し、「**上記の内容に同意します**」にチェックを入れます（「同意する」の意）。
- ③ 「比較を開始する」をクリック。

2.ご利用方法

✓ アンケートについて

ご利用にあたり以下のアンケートの回答をお願いいたします。

本アンケートの回答は、省エネに関する調査・研究等の目的で利用します。
※回答された情報はSIIのデータベースに保存されます。

業種
--なし--

職種
--なし--

使用目的
--なし--

次へ

- ④ 3つのアンケートについてプルダウンから選択のうえ、「次へ」をクリック。

「使用目的」で「その他」を選択する場合は具体的な内容もご記載ください。

↻ 比較する設備の選択

比較する設備を選択してください。

※比較する設備は、順次リリース予定になります。

空調

電気式パッケージエアコン

ガスヒートポンプエアコン

チリングユニット

照明

照明器具

- ⑤ 比較計算したい設備を選択する。

次のページより、「ガスヒートポンプエアコン」の計算方法をご案内します。

2.ご利用方法

2-2.使用環境の登録 (ガスヒートポンプエアコン)

使用環境の登録

空調

設備の使用環境を入力してください。

- 1 建物／ビル名称
建物／ビルの名称を入力してください
※当項目は比較結果表示の際に表示名として使用されます。実際の名称でなくても構いません。
入力した建物／ビル名称はDBのデータベースに登録されるため、登録で個人が特定できる名称の入力は行わないでください。
- 2 設備設置場所 (都道府県)
--なし--
- 3 建物用途
 店舗 事務所
- 4 1日あたりの運転時間
00:00 時間/日
- 5 1か月あたりの運転日数
00 日
- 6 運転パターン
 冷暖併用 冷房のみ

戻る

次へ

下記の表を参考に、設備の使用環境を登録し、「次へ」をクリック。

項目名	概要
1 建物／ビル名称	比較結果表示の際に表示名として使用されます。実際の名称でなくても構いません。
2 設備設置場所 (都道府県)	設備を設置する場所の都道府県を選択します。
3 建物用途	【店舗／事務所】のいずれかを選択します
4 1日あたりの運転時間	1日あたりの運転時間を入力します。
5 1か月あたりの運転日数	1か月あたりの運転日数を入力します。
6 運転パターン	【冷暖併用／冷房】のいずれかを選択します。

2.ご利用方法

2-3.既存設備の登録 (ガスヒートポンプエアコン)

No	製品名	型番	台数	編集ボタン	削除ボタン
1				編集する	削除する
2				編集する	削除する

- ① 「登録設備の一覧」画面の既存設備の「編集する」をクリック。

既存設備の情報を登録してください。

*は入力必須項目です。

種別
ガスヒートポンプエアコン

- 1 メーカー
メーカー名を入力してください
- 2 製品名*
製品名を入力してください
製品名がわからない場合は、任意の製品名でも構いません。(例) 既存設備A
- 3 型番
型番を入力してください
- 4 台数*
00 台
- 5 台数 (室内機)
00 台
- 6 設置年*
--なし--

- ② 下記の表を参考に、既存設備の情報を登録。「*」がついている項目は入力必須項目。

項目名	概要
1 メーカー	メーカー名を入力します。
2 製品名*	製品名を入力します。製品名が分からない場合は、任意の製品名でも構いません。
3 型番	型番を入力します。
4 台数*	3で登録した型番の台数を入力します。
5 台数 (室内機)	室内機の台数を入力します。
6 設置年*	固定資産管理台帳に記載されている、既存設備の設置年 (取得年) を選択します。

2.ご利用方法

③ 馬力換算の有無を登録。

馬力換算

有り 無し

既存設備の「定格能力」「定格ガス消費量」「定格消費電力」の確認ができない場合、馬力から換算した値を用いて省エネルギー量計算を行うこともできます。
馬力換算「有り」を選択すると、設備情報の入力省略できます。

※馬力換算「有り」「無し」の選択によって、入力箇所が異なります。

馬力換算【有り】の場合 ⇒次ページを参照

「定格能力」や「定格ガス消費量」が確認できない場合、「有り」を選択することで入力を省力できます。

馬力換算【無し】の場合 ⇒P.10を参照

「定格能力」や「定格ガス消費量」が確認できる場合、「無し」を選択して入力することでより正確に計算が行えます。

2.ご利用方法

馬力換算【有り】のとき

① 周波数*

--なし--

② 馬力*

--なし--

③ 定格能力(冷房)

④ 定格能力(暖房)

⑤ 定格ガス消費量(冷房)
kW

⑥ 定格ガス消費量(暖房)
kW

戻る

既存設備を登録

- ④ 下記の表を参考に、情報を登録。
「*」がついている項目は入力必須項目。

項目名	概要
① 周波数*	既存設備の周波数を選択します。
② 馬力*	既存設備の相当馬力を選択します。
③ 定格能力(冷房) ④ 定格能力(暖房) ⑤ 定格ガス消費量(冷房) ⑥ 定格ガス消費量(暖房)	自動で表示されます。

- ⑤ すべて入力したら、「既存設備を登録」をクリック。

2.ご利用方法

馬力換算【無し】のとき

① 定格能力(冷房)*

--なし-- ▼

② 定格能力(暖房)*

③ 定格ガス消費量(冷房)*

kW

④ 定格ガス消費量(暖房)*

kW

[← 戻る](#) [既存設備を登録 →](#)

- ④ 下記の表を参考に、情報を登録。
「*」がついている項目は入力必須項目。

項目名	概要
① 定格能力 (冷房) * ② 定格能力 (暖房) *	製品カタログ、仕様書を見ながら、既存設備の冷房／暖房それぞれの定格能力と定格ガス消費量を転記してください。 冷房定格能力・暖房定格能力の単位は製品カタログ、仕様書の記載に合わせ【kW】、又は【kcal/h】を選択してください。
③ 定格ガス消費量 (冷房) *	
④ 定格ガス消費量 (暖房) *	
②と④については、冷房専用機の場合、定格能力(暖房)は「0.1」を入力してください。	

- ⑤ すべて入力したら、「既存設備を登録」をクリック。

2.ご利用方法

2-4.導入予定設備の登録 (ガスヒートポンプエアコン)

No.	製品名	型番	台数	編集ボタン	削除ボタン
1				編集する	削除する
2				編集する	削除する

- ① 「登録設備の一覧」画面の導入予定設備の「編集する」をクリック。

導入予定設備を型番検索してください。

種別
ガスヒートポンプエアコン

- 1 メーカー名*
メーカー名を入力してください
株式会社等の法人格を入力せずに検索してください。
- 2 製品名
製品名を入力してください
製品名はメーカー発行のカタログに記載のものすべてか一部を入力し検索してください。
- 3 型番
型番を入力してください
型番はメーカー発行のカタログに記載のものすべてか一部を入力し検索してください。

検索する 🔍

- ② 必要事項を入力し、「検索する」をクリック。「*」がついている項目は入力必須項目。

項目名	概要
1 メーカー名 *	株式会社等の法人格は含めずに入力します。
2 製品名	分かる場合は、メーカー発行のカタログに記載のものうち、すべて、もしくは一部を入力し、検索します。
3 型番	

2.ご利用方法

検索結果

No	メーカー	製品名	型番	選択ボタン
1	■■■■■	■■■■■	■■■■■	選択する

- ③ 検索結果が表示されたら、該当の設備を探し「選択する」をクリック。

導入予定設備の登録 空調

導入予定設備の情報を登録してください。

*は入力必須項目です。

種別
ガスヒートポンプエアコン

メーカー
メーカーA

製品名
製品B

型番
型番A

① 台数*
 台

② 台数 (室内機)
 台

戻る 導入予定設備を登録

- ④ 必要事項を入力し、「導入設備を登録」をクリック。
「*」がついている項目は入力必須項目。

項目名	概要
① 台数*	選択した設備の導入予定台数を入力します。
② 台数 (室内機)	① で入力した室外機に紐づく、室内機の合計台数を入力します。

2.ご利用方法

2-5.計算結果の確認（ガスヒートポンプエアコン）

登録設備の一覧 空調

使用環境

建物/ビル名称
テストビル

比較結果へ進む

- ① 「登録設備の一覧」画面で既存設備と導入予定設備が登録されていることを確認し、「比較結果へ進む」をクリック。

比較結果 印刷する

建物/ビル名称 テストビル

既存設備			
No	製品名	型番	台数
1	製品A		1
2			
3			
4			
5			

導入予定設備			
No	製品名	型番	台数
1	製品B		1
2			
3			
4			
5			

原油換算使用量 (kL/年) **省エネ量 2,796 kL/年**

ガス消費量 (m3/年) **ガス削減量 2,406 m3/年**

年間コスト (円/年) **削減コスト 205,775 円/年**

注釈

活用事例

設備の条件を変更 トップページへ

- ② 計算結果が表示される。必要に応じて印刷ボタンからPDFや紙に印刷し、保存することも可能。

3.計算のうえでのご注意

◆導入予定設備

本ツールで導入予定設備として選択できる製品は「省エネ・非化石転換補助金」において、補助対象として登録されている指定設備です。

◆原油換算使用量 (kl/年)

本ツール利用時に登録いただく運転時間、日数等の使用環境、既存設備及び導入予定設備の消費電力等の情報をもとに試算した結果です。あくまでJIS等に基づく標準的な条件での試算であり、ご使用の地域、気象、その他の条件等により、実際の原油換算使用量は異なりますのでご注意ください。

◆年間コスト (円/年)

<電気>

消費電力量に想定電力料金単価 (20円/kWh) を乗じて算出したものです。想定電力料金単価は、電力・ガス取引監視等委員会が公表する電力取引報における、高圧の販売量及び販売額から、一定期間の平均単価を算出し、適用しております。実際の電力料金単価は、各事業所の契約形態や電力会社等によって異なります。

<ガス>

ガス消費量に想定ガス料金単価 (85.5円/m³) を乗じて算出したものです。想定ガス料金単価は、電力・ガス取引監視等委員会が公表するガス取引報における、商業用、工業用及びその他用の販売量及び販売額から、一定期間の平均単価を算出し、適用しております。また、本ツールでのガス消費量及び年間コストは、都市ガス (標準発熱量45MJ/m³) を使用する場合を想定しております。実際のガス料金単価は、使用するガス種別、各事業所の契約形態、ガス会社等によって異なります。

3.計算のうえでのご注意

< A 重油 >

A 重油消費量に想定 A 重油料金単価（98円/L）を乗じて算出したものです。想定 A 重油料金単価は、経済産業省資源エネルギー庁が公表する石油製品価格調査における、産業用価格（軽油・A 重油）のうち、A 重油の小型ローリーの販売額から、一定期間の平均単価を算出し、適用しております。実際の A 重油料金単価は、販売会社等によって異なります。

< L P G >

L P G 消費量に想定 L P G 料金単価（170円/kg）を乗じて算出したものです。想定 L P G 料金単価は、日本 L P ガス協会が公表する L P ガス価格の推移におけるプロパンの卸売価格から、一定期間の平均単価を算出し、適用しております。実際の L P G 料金単価は、販売会社等によって異なります。

< 灯油 >

灯油消費量に想定灯油単価（120円/L）を乗じて算出したものです。想定灯油単価は、経済産業省資源エネルギー庁が公表する石油製品価格調査における、一般小売価格のうち、民生用灯油（給油所以外）の配達価格から、一定期間の平均単価を算出し、適用しております。実際の灯油料金単価は、販売会社等によって異なります。

お問い合わせ・相談・連絡窓口

一般社団法人 環境共創イニシアチブ

TEL : 03-5565-3840

受付時間 : 平日の10:00~12:00、13:00~17:00

(土曜、日曜、祝日を除く)

通話料がかかりますのでご注意ください。

SIIホームページURL <https://sii.or.jp/>